

確かな学力向上推進プラン

令和元年6月1日現在
江戸川区立大杉第二小学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の正答率																		
教科	平成 30 年度 結果		平成 31 年度 目標値		平成 31 年度 結果		平成 32 年度 目標値		平成 32 年度 結果		平成 33 年度 目標値		平成 33 年度 結果		平成 34 年度 目標値		平成 34 年度 結果	
国語	20 問	57%	20 問	59%	1 8 問	58.6%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
社会	22 問	62.4%	22 問	64%	1 8 問	63.7%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
算数	31 問	42.4%	31 問	44%	2 6 問	53.9%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
理科	20 問	62%	20 問	64%	1 9 問	50.8%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	・放課後補習教室の実施を通して、たし算や引き算、片仮名や漢字の確実な習得を目指す。	・東京ベーシックドリル（算数：3回）の実施 ・放課後補習教室の実施	・東京ベーシックドリル（算数：3回）の実施 ・放課後補習教室の実施	・東京ベーシックドリル（算数：3回）の実施 ・放課後補習教室の実施	・東京ベーシックドリル（算数：3回）の実施 ・放課後補習教室の実施	・東京ベーシックドリル（算数：3回）の実施 ・放課後補習教室の実施	・東京ベーシックドリル平均値を各学年5%向上
論点2 学習規律の徹底	・大杉二小スタンダード、小中連携スタンダードの徹底 ・チャイム着席 ・ノートの書き方指導	・大杉二小スタンダード、小中連携スタンダードの徹底 ・チャイム着席 ・ノートの書き方指導	・大杉二小スタンダード、小中連携スタンダードの徹底 ・チャイム着席 ・ノートの書き方指導	・大杉二小スタンダード、小中連携スタンダードの徹底 ・チャイム着席 ・ノートの書き方の徹底	・大杉二小スタンダード、小中連携スタンダードの徹底 ・チャイム着席 ・ノートの書き方の徹底	・大杉二小スタンダード、小中連携スタンダードの徹底 ・チャイム着席 ・ノートの書き方の徹底	・「授業中、学習のきまりに気を付けて勉強していますか。」において肯定的な回答85%（児童アンケート）
論点3 生活習慣の確立	・生活リズムチェックシートの実施（毎学期）	・生活リズムチェックシートの実施（毎学期）	・生活リズムチェックシートの実施（毎学期）	・生活リズムチェックシートの実施（毎学期）	・生活リズムチェックシートの実施（毎学期）	・生活リズムチェックシートの実施（毎学期）	・「携帯電話・スマホ、ゲームなどの利用時間一日1時間以内」の回答75%以上
論点4 家庭学習の指導の充実	・家庭訪問、個人面談、保護者会での家庭学習の啓発 ・eライブラリーの活用	・家庭訪問、個人面談、保護者会での家庭学習の啓発 ・eライブラリーの活用	・家庭訪問、個人面談、保護者会での家庭学習の啓発 ・eライブラリーの活用	・家庭訪問、個人面談、保護者会での家庭学習の啓発 ・eライブラリーの活用	・家庭訪問、個人面談、保護者会での家庭学習の啓発 ・eライブラリーの活用	・家庭訪問、個人面談、保護者会での家庭学習の啓発 ・eライブラリーの活用	・「家庭学習をする。」の回答80%以上
論点5 言語に関する指導の充実	・朝読書の実施 ・読書週間、親子読書の実施 ・絵本や本の読み聞かせ	・朝読書の実施 ・読書週間、親子読書の実施 ・絵本や本の読み聞かせ	・朝読書の実施 ・読書週間、親子読書の実施 ・各教科における交流において、ペア、トリオ、小グループなどの学習形態の工夫	・朝読書の実施 ・読書週間、親子読書の実施 ・各教科における交流において、ペア、トリオ、小グループなどの学習形態の工夫	・朝読書の実施 ・読書週間、親子読書の実施 ・各教科における交流において、ペア、トリオ、小グループなどの学習形態の工夫	・朝読書の実施 ・読書週間、親子読書の実施 ・各教科における交流において、ペア、トリオ、班などの学習形態を工夫した交流活動	・「すすんで読書をしていますか。」において肯定的な回答85%以上（児童アンケート）
論点6 教員の学習指導力向上	・校内OJTの実施 ・校内研究での授業改善 ・学年会の充実 ・体育実技研修の参加	・校内OJTの実施 ・校内研究での授業改善 ・学年会の充実 ・体育実技研修の参加	・校内OJTの実施 ・校内研究での授業改善 ・学年会の充実 ・体育実技研修の参加	・校内OJTの実施 ・校内研究での授業改善 ・学年会の充実 ・体育実技研修の参加・	・校内OJTの実施 ・校内研究での授業改善 ・学年会の充実 ・体育実技研修の参加・	・校内OJTの実施 ・校内研究での授業改善 ・学年会の充実 ・体育実技研修の参加・	・「先生のお話は、わかりますか。」において肯定的な回答80%以上

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	・ひらがなの読み書き、簡単な文章の作成を正確に行うことができるようにする。	・語と語や文と文の続き方に気を付けて、書きたいことを表現することができるようにする。 ・既習漢字の習得と活用	・説明文の要点を明確にし、自分の書きたいことを表現できるようにする。 ・既習漢字の習得と活用	・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどを書くことができるようにする。 ・既習漢字の習得と活用	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開をとらえ、自分の考えを表現することができるようにする。 ・既習漢字の習得と活用	・事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に表現したり、詳しく表現したりすることができるようにする。 ・既習漢字の習得と活用
社会			・地図の見方や方位を使った表現など、地図を活用した授業展開を進める。 ・問題解決的な授業を展開する。	・地図を活用した空間的な見方や考え方を養う授業展開を進める。 ・問題解決的な授業を展開する。	・地図や地球儀、その他の資料との関係性を考えさせる授業展開を進める。 ・問題解決的な授業を展開する。	・地図や年表、その他の資料を関連、統合させながら、社会的事象の変化を考え、なぜそのようなことが起きたのかを考える授業づくりを進める。 ・問題解決的な授業を展開する。
算数	・加法と減法の計算の反復練習をし、計算の基礎の定着を図る。 ・量感を身に付けるために、具体物を活用する。	・加法と減法、乗法の計算の反復練習をし、計算の基礎の定着を図る。 ・量感を身に付けるために、具体物を活用する。	・計算の反復練習をし、四則計算の基礎の定着を図る。 ・量感を身に付けるために、具体物を活用したり、日常生活に結び付けたりする。	・除法の反復練習をし、四則計算の基礎の定着を図る。 ・量感を身に付けるために、具体物を活用したり、日常生活に結び付けたりする。	・小数の計算の反復練習をし、四則計算の基礎の定着を図る。 ・量感を身に付けるために、体験的な活動を取り入れたり、日常生活に結び付けたりする。	・小数や分数の計算の反復練習をし、四則計算の基礎の定着を図る。 ・量感を身に付けるために、体験的な活動を取り入れたり、日常生活に結び付けたりする。
理科			・観察、実験器具の技能を確実に習得させるために、繰り返し操作させる指導の充実を図る。 ・主体的な問題解決の活動を充実させ、観察・実験の結果を問題や予想に照らし合わせて考察させる指導の充実を図る。	・自然現象の変化に気づき、主体的に問題解決に取り組む。 ・比較したことから、事柄の関連付けを行う。	・実験方法を理解し、器具を正しく安全に使えるようにする。 ・予想、実験結果を基に、考察していく問題解決的な学習を展開する。	・変化や規則性に気づき、主体的に問題解決できるようにする。 ・実験の条件制御や推論、比較したことから、事柄の関連付けを行う。
生活	・身近な自然や自分自身の成長に気付くことができるようにする。 ・社会や自然との関わりについて考え、表現できるようにする。	・身近な自然や自分自身の成長に気づき、伝え合うことができるようにする。 ・社会や自然との関わりについて考え、表現できるようにする。				
音楽	・自分の歌声や発音に気を付けて楽曲の気分を感じ取り、思いをもって歌ったり、演奏したりすることを楽しめるようにする。	・自分の歌声や発音に気を付けて楽曲の気分を感じ取り、思いをもって歌ったり、演奏したりすることを楽しめるようにする	・曲想と音楽の構造などとの関わりに気付くとともに、表現するために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもち、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽に親しむようにする。	・曲想と音楽の構造などとの関わりに気付くとともに、表現するために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもち、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽に親しむようにする。	・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲の演奏のよさを見出しながら音楽を味わって聴く。 ・主体的に音楽に関わり協働して音楽活動をする楽しさを味わうとともに、音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもち、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽に親しむようにする。	・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲の演奏のよさを見出しながら音楽を味わって聴く。 ・主体的に音楽に関わり協働して音楽活動をする楽しさを味わうとともに、音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもち、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽に親しむようにする。
図画 工作	・基礎的な表現方法を身に付けさせることで、思いを素直に表現できるようにする。	・様々な材料から豊かな発想をし、工夫しながら思いを表現できるようにする。	・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫できるようにする。	・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫できるようにする。	・身に付けたことを生かして、表したいことを絵や工作で表せるようにする。	・材料などの特徴を捉え、想像力を働かせて発想し、様々な表し方を工夫できるようにする。

家庭					・社会を構成する単位として家族について理解できるようにする。 ・食事と生活、調理、衣服や住まいについて理解できるようにする。	・五大栄養素と食品の主な働きについて、理解できるようにする。 ・ミシンの基本的な操作を習得し、調理用具やコンロの安全な取り扱い方を身に付けるようにする。
体育	・運動の特性を味わい、楽しみながら運動できるようにする。	・運動の特性を味わい、楽しみながら運動できるようにする。	・運動の特性を味わい、楽しみながら運動できるようにする。 ・運動に仕方や場の工夫、学び合いの工夫をして基本的な動きの習得に取り組むようにする。	・運動の特性を味わい、楽しみながら運動できるようにする。 ・運動に仕方や場の工夫、学び合いの工夫をして基本的な動きの習得に取り組むようにする。	・運動の特性を味わい、楽しみながら運動できるようにする。 ・運動に仕方や場の工夫、学び合いの工夫をして体力を高めるようにする。	・運動の特性を味わい、楽しみながら運動できるようにする。 ・運動に仕方や場の工夫、学び合いの工夫をして体力を高めるようにする。